

## 今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（中央教育審議会 答申）

文部科学省生涯学習政策局政策課

平成二三年一月三十一日、中央教育審議会において「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方についての答申が行われた。以下では、本答申の概要について解説する。なお、本答申の本文、付属資料（データ・事例）は文部科学省ホームページに掲載されている。

（[http://www.w.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/130187.htm](http://www.w.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/130187.htm)）

### 答申の主な内容

#### 一．若者の現状・・・大きな困難に直面

◆「学校から社会・職業への移行」が円滑に行われていない  
・完全失業率…約九％（一五～二四歳）

・非正規雇用率…約三二％（一五～二四歳）  
・若年無業者（ニート）…約六三万人  
・新卒者の三年以内離職…大卒三割、高卒四割  
◆「社会的・職業的自立」に向けて、様々な課題が見られる。

・コミュニケーション能力など職業人としての基本的な能力の低下  
・職業意識・職業観の未熟さ  
・進路意識・目的意識が希薄なまま進学する者の増加

これらの背景には、産業構造や就業構造の変化など、社会全体を通じた構造的問題が存在しており、社会が一体となった対応が必要である。

また、企業内教育・訓練の縮減の指摘や、非正規雇用の増加の中、人々が生涯にわたり職業に関する学習を行う環

境の充実が重要である。

このような中で、学校教育は、重要な役割を果たすものであり、キャリア教育・職業教育の充実が必要である

## 二．キャリア教育・職業教育の定義と三つの基本的方向性

### (一) 方向性一

幼児期の教育から高等教育に至るまでの体系的なキャリア教育の推進

#### ◆キャリア教育：一人一人の社会的・職業的自立に向け、

必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

・ 幼児期の教育から高等教育まで、発達の段階に応じた体系的な実施が必要。

・ 様々な教育活動を通じ、基礎的・汎用的能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）を中心に育成することが必要。

### (二) 方向性二

実践的な職業教育の重視と職業教育の意義の再評価

#### ◆職業教育：一定又は特定の職業に従事するために必要な

知識、技能、能力や態度を育てる教育

・ 実践的な職業教育の充実が必要。

・ 職業教育の意義の再評価が必要。

### (三) 方向性三

生涯学習の観点に立ったキャリア形成支援

生涯にわたる社会人・職業人としてのキャリア形成（社

会・職業へ移行した後の学習者や、中途退学者・無業者等）を支援する機能の充実が必要。

#### 三．発達の段階に応じた体系的なキャリア教育の充実方策

〔基本的な考え方〕

・ 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力・態度を育成する、幼児期の教育から高等教育までの体系的な取組の構築。

・ 子ども・若者一人一人の発達状況の確かな把握ときめ

細かな支援。

・能力や態度の育成を通じた勤労観・職業観等の価値観の自己形成・自己確立。

#### 四、高等教育におけるキャリア教育・職業教育の充実方策

##### (一) 課題

・高等教育進学率は約八割に達し、多くの若者にとって、社会に出る直前の教育段階となっていることを踏まえた、社会・職業への移行を見据えた教育の改善・充実  
・実践的な職業教育の充実や生涯学習ニーズを含む多様なニーズへの対応

##### (二) 基本的な考え方

##### 【キャリア教育】

自らの視野を広げ、進路を具体化し、後期中等教育までに育成した社会的・職業的自立に必要な能力や態度を、専門分野の学修を通じて伸長・深化させていくことが必要。

##### 【職業教育】

自立した職業人を育成する職業教育の重要性を踏まえた高等教育の展開や、各教育機関が果たす役割・機能の明確

化と、それぞれの特性をいかした職業教育の充実が必要。

##### (三) 各機関の充実方策

##### 【大学・短期大学】

教育課程の内外を通じて社会的・職業的自立に向けた指導等に取り組みための体制整備（大学設置基準・短期大学設置基準の改正。平成二三年度から実施）を踏まえた取組の実施や、各大学・短期大学の機能別分化の下、養成する人材像・能力を明確化した職業教育の充実、実践的な職業教育の展開が必要。

##### 【高等専門学校】

産業界との連携による先導的取組の促進や、地域等のニーズを踏まえた新分野への展開、専攻科の位置付けの明確化と大学院接続の円滑化の検討、専攻科所定単位取得者に対する学位授与の円滑化の検討などが必要。

##### 【専門学校】

早期から十分な職業理解や目的意識を持たせた上でのキャリア形成支援や、「単位制」「通信制」の制度化の検討などが必要。